

観閲式研修

神奈川地本カレッジ防衛モニター 井上 美桜

10月23日(日)、カレッジ防衛モニターとして、陸上自衛隊朝霞訓練場で行われた自衛隊記念日観閲式を研修した。

当日は、朝早く式典会場に到着し、式典が始まるまでの間、装備品展示を見学したが、戦闘車両をはじめ、野外手術システムや野外炊具、野外入浴セットなど、普段なかなか目にするのではない装備品を見学することができ、非常に興味深かった。

観閲行進や観閲飛行では、どの部隊も威風堂々としており、観客席からは自然に拍手が沸き起こっていた。米軍による祝賀行進・飛行が終了し、最後にブルーインパルスによる展示飛行が行われた。これまでブルーインパルスの飛行を観たことがなく、個人的にもとても楽しみにしていたが、当日は気持ち良い秋晴れという最高のシチュエーションで見学することができた。青空を背景に、ブルーインパルスが整然と編隊を組んで飛行したり、単機飛行で自由に空を飛び回ったりする様は、とても美しく感動的で、このままずっと見ていたいと思うほどであった。

今回の研修を通じて、初めて知るような多くの事を学び、また念願であったブルーインパルスの展示飛行も観ることもでき、とても有意義な時間を過ごせた。

観閲式研修

神奈川地本カレッジ防衛モニター 亀谷 拓海

10月23日(日)、カレッジ防衛モニターの活動として、朝霞訓練場で行われた自衛隊記念日観閲式の研修に参加した。

本観閲式では、人員約4,000名、航空機約50機、車両約280両に及ぶ観閲部隊及び観閲飛行部隊による観閲行進・飛行のほか、米陸軍ストライカー部隊の祝賀行進や米海兵隊所属のオスプレイによる祝賀飛行、最後にブルーインパルスの展示飛行などが行われた。

観閲式典には、安倍内閣総理大臣をはじめ、多くの来賓が臨席しており、会場周辺の道路には機動隊が待機するほか、会場内にもSPと思われる人が多くいて、非常に緊張感のある雰囲気であった。また、観閲行進における徒步行進は、隊員の緊張感が伝わってくるほど一糸乱れぬ行進で、とても迫力があるとともに、車両行進は前後左右ほぼ等間隔で行進しており、かなりの技量が必要だろうと感じた。

私は、この観閲式に是非一度は参加してみたいと思っていたので、今回の研修により、夢が叶い感謝するとともに、とても貴重な体験をすることができた。